

第18回学術情報ソリューションセミナー on the Web

# JUSTICEのOA2020ロードマップ： 2020年の取り組み

2021年6月23日

JUSTICE事務局長／国立情報学研究所

平田義郎

# JUSTICEのOA2020ロードマップとは

- OA2020への関心表明(EoI)に署名 (2016.8)
- OA2020対応検討チーム設置 (2017.7)
- 情報収集
  - 国際会議への参加 (Berlin13, 14)
  - ワークショップ開催 (2018.11)
  - SPARC Japanセミナー共催 (2018.11)
- データ収集、分析
  - 契約状況調査 (購読料の把握)
  - 論文公表実態調査 (APCの把握)
- OA2020ロードマップ (日本語版・英語版) 公開 (2019.3)

60番目の署名機関に

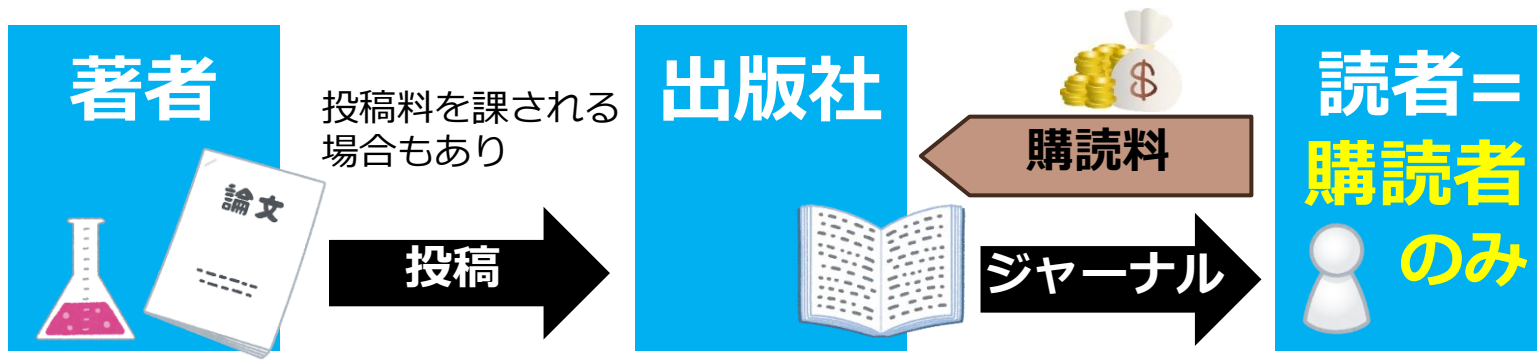
総会で海外の  
動向等を紹介

報告書公開 (2019.5)  
最新版公開 (2021.3)

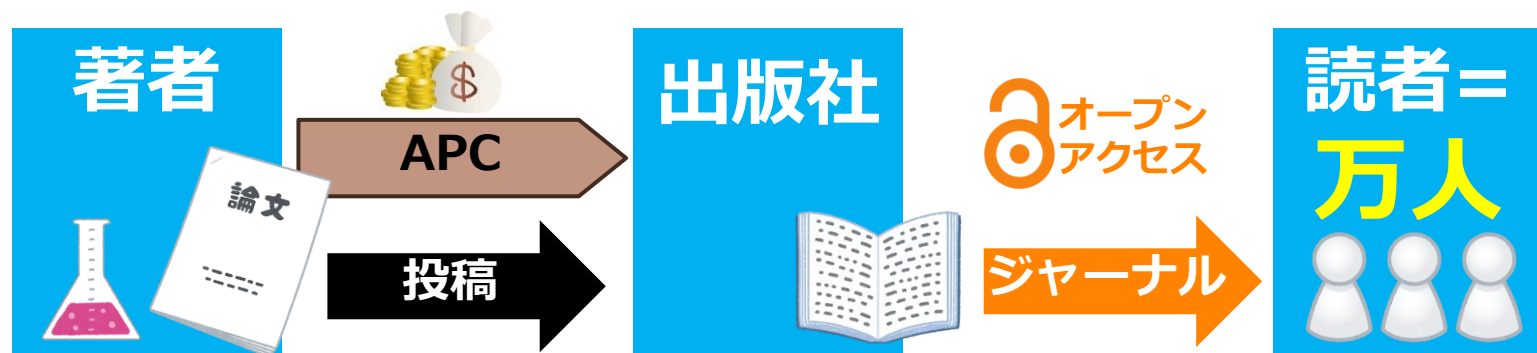


# 購読モデルとOA出版モデル

## 購読モデル



## OA出版モデル



# JUSTICEのロードマップの概要（1）

## 購読モデルからOA出版モデルへの転換をめざして ～JUSTICEのOA2020ロードマップ～

### 目次

1. ロードマップの背景
2. ロードマップの目的

**OA出版モデル実現までの移行期を  
乗り越える道筋を明らかにすること**

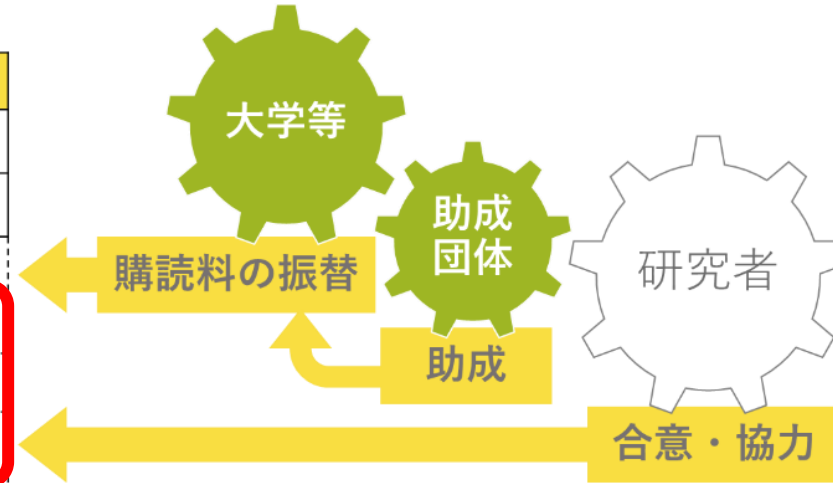
3. ロードマップ策定とこれから
4. JUSTICEのOA2020ロードマップ

付録：OA2020に関するFAQ

The image shows two pages from the JUSTICE OA2020 Roadmap document. The left page is the title page, dated 2019年3月5日, with the title '購読モデルからOA出版モデルへの転換をめざして～JUSTICEのOA2020ロードマップ～'. It lists two main sections: '1. ロードマップの背景' and '2. ロードマップの目的'. The right page is the first page of the roadmap content, titled '4. JUSTICEのOA2020ロードマップ'. It features a table with columns for '年' (Year) and 'JUSTICE' activities. The table shows activities for 2015 (データ収集・分析), 2019 (OA出版モデル契約に向けた実行), and 2020 (OA出版モデル契約に向けた展開). To the right of the table is a diagram showing the flow of information and collaboration between '大学等' (Universities), '研究団体' (Research Organizations), and '研究者' (Researchers), with arrows indicating '関係性の構築' (Building relationships) and '協働' (Collaboration). Below the table and diagram are several bullet points detailing the roadmap's goals and strategies, such as 'データ収集・分析' (Data collection and analysis), 'OA出版モデル契約に向けた実行' (Implementation of OA publishing model contracts), and 'OA出版モデル契約に向けた展開' (Expansion of OA publishing model contracts).

# JUSTICEのロードマップの概要（2）

YR	JUSTICE
2015	データ収集・分析
2019	
～	OA出版モデル契約に向けた試行
2020	
～	OA出版モデル契約に向けた展開



- 交渉に必要なとなる、購読料、論文産出数、APCの支出等に関する正確なデータの収集と分析を継続
- 論文産出数の推移、コスト、OA進捗などについてモニター  
→論文公表実態調査

- OA出版モデルの実現に向けた交渉を開始
- 購読モデルとの同時提案や一部の大学を対象とした提案のほかトータルコストの管理に繋がる多様なモデルを交渉の対象に
- 試行による成功モデルを段階的に他の会員館・出版社へ展開

# 多様な出版モデル

## **Transformative agreement**

(訳：移行契約、転換契約)

### Offset agreement

2重払いの回避を  
強く意識した呼び方

### Read & Publish

購読費が価格算出のベース

### Publish & Read

### Publish & Access

出版費が価格算出のベース<sup>7</sup>

# 移行契約の状況

	国数	OA出版論文数
Springer Nature	12	32,960
Wiley	12	31,570
Elsevier	12	25,451
T&F	11	12,342
Sage	10	8,384
CUP	17	5,241
OUP	11	4,543
ACS	11	2,524
その他		13,760
合計	32	136,775

(参考)

<https://esac-initiative.org/about/transformative-agreements/agreement-registry/>



# JUSTICEの状況

## ➤ 出版社

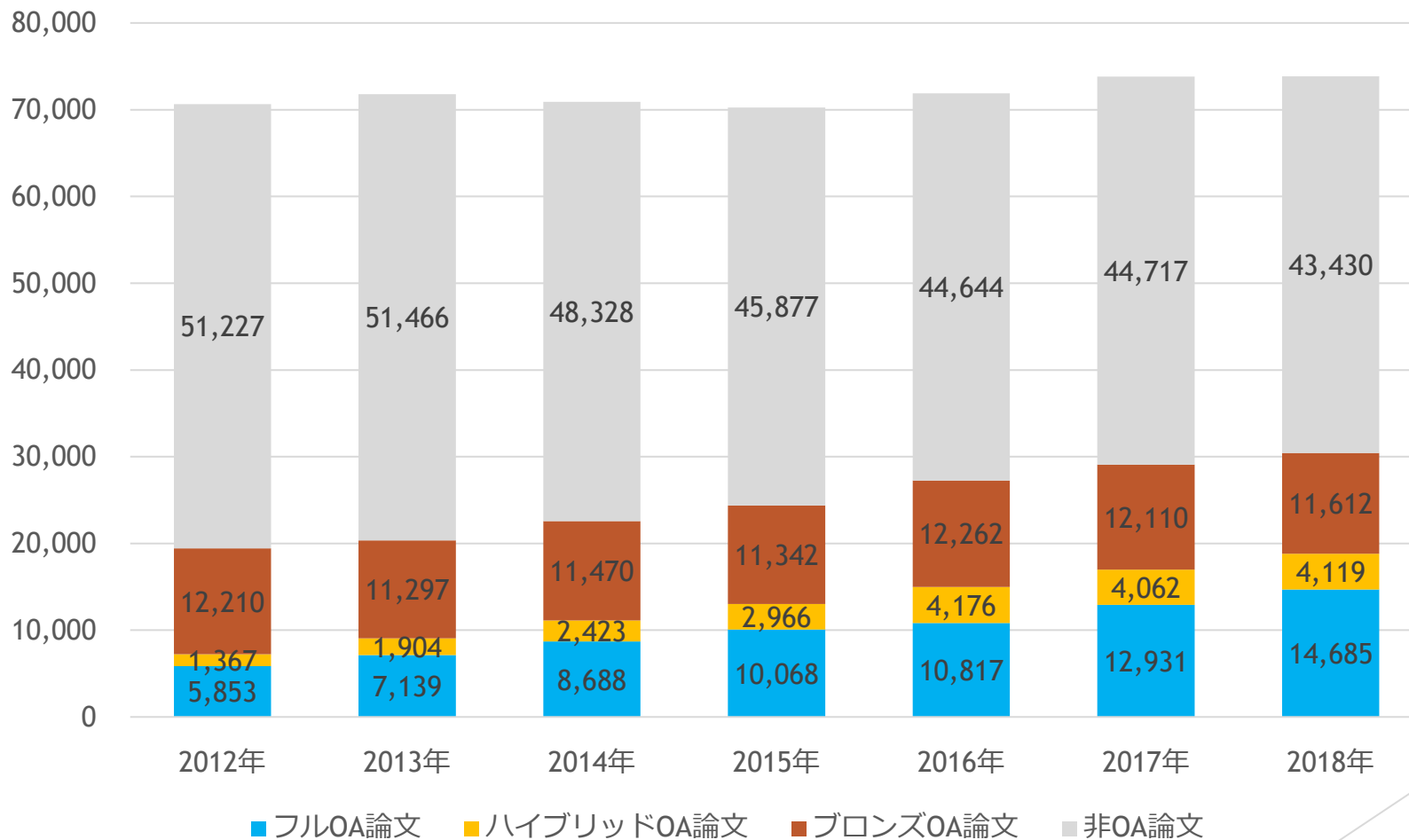
- 数社と移行契約について懇談

## ➤ 会員館

- 2019年度総会資料OA契約に関する事例紹介 (2020.3)
- 研修会でOA契約に関する事例紹介 (2020.7)
- 論文公表実態調査の個別データを提供

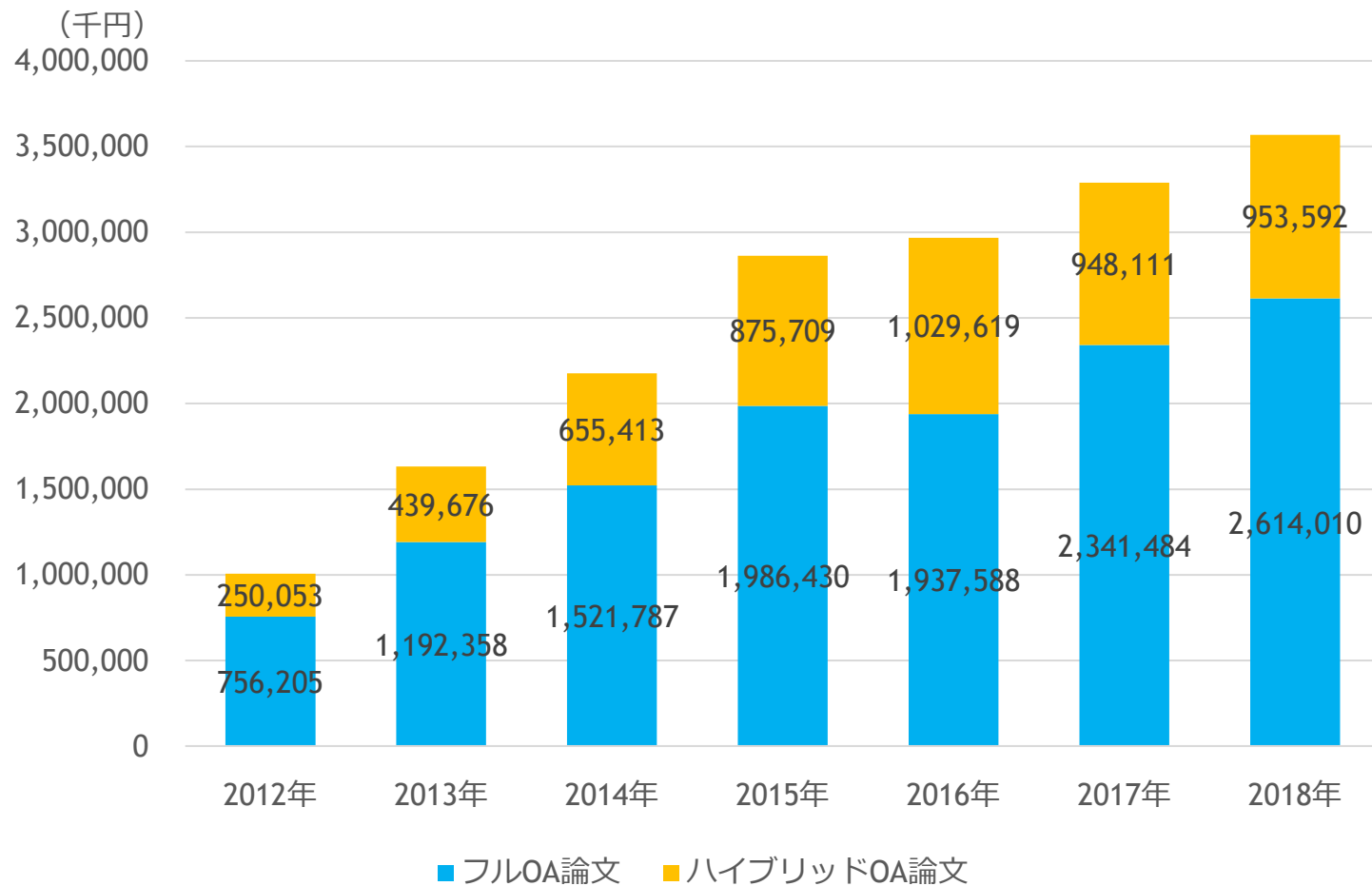
# 論文公表実態調査の概要

## 公表論文数，OA論文数の推移



# 論文公表実態調査の概要

## APC支払推定額の推移

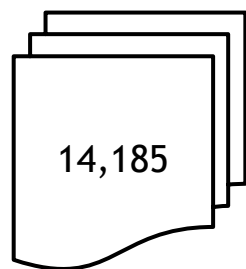


# 論文公表実態調査の概要

JUSTICE会員498館

現支出額  
約31,278百万円

APC推定額  
約2,681百万円



ゴールドOA論文

購読額  
約28,596百万円



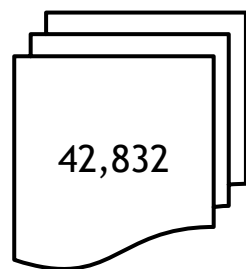
非ゴールドOA論文

約549千円

論文単価

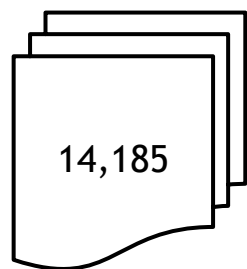
OA移行総費用  
約13,976百万円

OA移行経費  
約11,295百万円



非ゴールドOA論文

APC推定額  
約2,681百万円



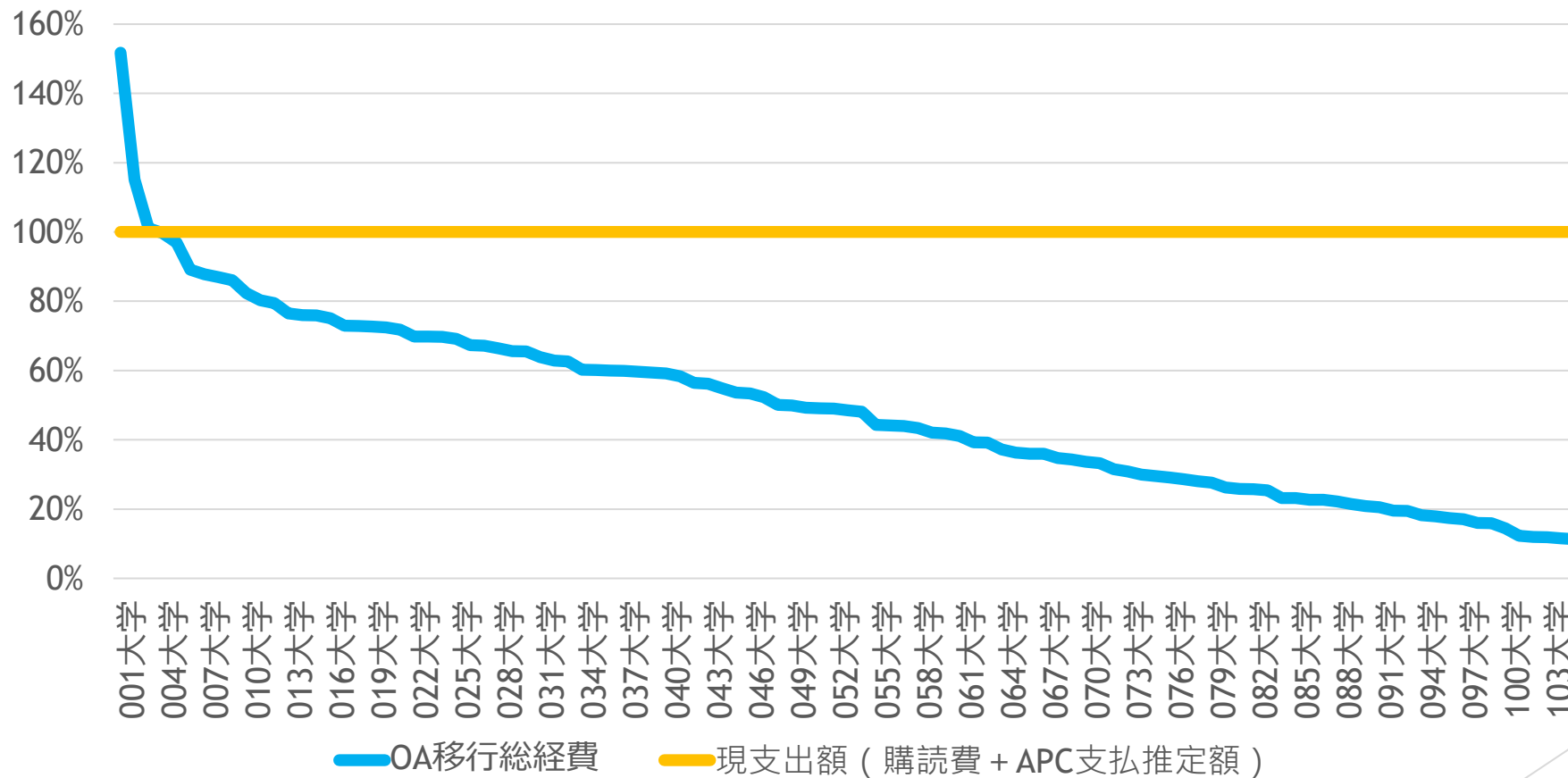
ゴールドOA論文

約264千円

現実的な論文単価2,000  
ユーロ

# 論文公表実態調査の概要

JUSTICE会員105館（会員規模AB）



# JUSTICEのOA出版モデル交渉方針

1. 「購読契約」と「移行契約」を選択可能な提案
2. 原則OAになる提案
3. フルOA誌も提案に含むか，フルOA誌での出版が増加する方向が望ましい
4. 原則現在の支出額（購読額+APC支出額）が上限
5. OA出版モデルを促進する多様な提案を歓迎
6. OA論文は原則CC-BYで出版
7. 契約内容の公開と広報への協力
8. バックファイルまたはアーカイブとの同時提案を歓迎

# 2021年向けの提案状況

- Read & Publish : 2 提案
- APC割引 : 4提案

# CUPからの移行契約提案

- 提案期間：2020～2022年
  - 購読モデルとRead & Publishモデルを選択
  - 価格：購読モデル < Read & Publishモデル
  - Read & Publishモデル：APCを無制限で免除
- 
- ➔ 2020：13大学
  - ➔ 2021：15大学（国大:6, 私大:9）が契約



## Elsevierからの提案

- 提案期間：2021～2023年
- 購読モデルとゴールドOA付加モデルを選択
- 価格：購読モデル < ゴールドOA付加モデル
- ゴールドOA付加モデル：APC割引を提供
- ➔ 2021：2大学（国大:1, 私大:1）が契約